

目次

□巻頭言

重ねて資源・エネルギー問題について……………河上房義 / 1

沖縄縦貫道路の建設……………桂木睦夫 / 3

首都高速湾岸線建設の概要……………木村康宏 / 9  
 太田千秋 / 9  
 木田幸雄

大阪湾岸道路の建設計画……………松村保 / 19

中央自動車道西宮線笹子トンネルの施工概要……………周佐光 / 26  
 岸衛寛

大形振動ローラによるフィルダムの締固め……………岩片透 / 32  
 一高瀬、七倉ダムの施工例一

□随想 屁理窟……………伊藤和幸 / 40

グラビヤ—建設が進む沖縄縦貫道路

パイロットプラントによるヘドロの処理調査……………飯田主税 / 43

ヘドロ浚渫の研究……………宮崎昭児 / 49

ISO/TC 127 Airlie 会議報告……………ISO 部会 / 53

□部会研究報告

東京湾横断道路の計画概要と人工島の施工法……………東京湾横断道路施工計画調査委員会 / 63

昭和 49 年度建設機械整備標準料金について……………整備技術部会 / 69  
 料金調査委員会

□建設機械化研究所抄報 <No. 105>

309. 日立 UH 04 形油圧式バックホウ性能試験…………… / 70

310. ダイナパック CC 20 形振動ローラ性能試験…………… / 71

□文献調査

維持費の軽減に役立つ新形タイヤ……………広報部会 / 73  
 文献調査委員会

ミニトンネルボーリングマシンによる全断面掘削……………広報部会 / 74  
 文献調査委員会

□支部だより

建設機械優良運転員・整備員の表彰……………北海道支部 / 75

優良建設機械運転員・整備員の表彰……………中国四国支部 / 75

□統計

建設工事受注額・建設機械受注額……………調査部会 / 76

および建設機械卸売価格の推移…………… / 76

行事一覧…………… / 77

編集後記……………(平沢・堀部) / 78

▷新規開発車両の設計製作基準及び取扱等に関する要領

◀表紙写真説明▶

ER 160 型ロードカッター  
酒井重工業株式会社

最近の交通量の激増は車両の大型化と走行車両位置の固定化等と相まって舗装面のわだち掘れと破損を著しくしている。本機はこれらの補修工事を効率よく作業するための路面切削機である。特に供用中の道路で作業するので交通の障害にならないこと、スピーディな作業と機動性を有することで作業時間や運行時間の短縮を可能にすることや騒音、振動等による公害防止等に留意している。また、高架道路や橋梁等の載荷重量によるオーバーレイが不可能なときなどは所要厚を任意に調整しながら切削し、再舗装することができる。

なお、本機の特長としては

- ① 全油圧駆動で操作が容易である。
- ② カッタービットの交換が簡単である。
- ③ カッタードラムは左右それぞれ 400 mm サイドシフトができる。

④ 作業状況を見ながらカッタードラム位置を確実にコントロールできる。

また、本機の能力は次のようである。

- 最大切削深: 80 mm  
 最大作業幅: 1,600 mm  
 切削能力: 気温 20°C 以上の場合 200~400 m<sup>3</sup>/hr (深さ 50 mm)  
 気温 20°C 以下の場合 100~200 m<sup>3</sup>/hr (深さ 50 mm)